

資 料

富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2020年)

南部 久男¹⁾, 清水 海渡²⁾

¹⁾ 富山市科学博物館登録ボランティア 939-8084

富山市西中野町一丁目8-31

²⁾ 富山市科学博物館 939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

**Records of Asiatic Black Bear
(*Ursus thibetanus japonicus*) in Toyama
City, Toyama Prefecture in 2020**

Hisao Nambu¹⁾ and Kaito Shimizu²⁾

¹⁾ Toyama Science Museum volunteer, 1-8-31

Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

²⁾ Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi,

Toyama 939-8084, Japan

1. はじめに

富山市におけるツキノワグマの各年の出沒状況は、本種の長期にわたる出沒動向を知るための基礎資料となると考えられることから、2005年から継続的に報告してきた(南部, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019; 南部・清水, 2021)。本稿では2020年の出沒状況を報告する。

2. 方法

富山市の2020年のツキノワグマ(以下クマと称する)の出沒情報は、富山市農地林務課からデータの提供を受けた。また、公開されている富山市のクマ出沒情報(富山市, 2022)や富山県(2022a)の出沒情報地図【クママップ】も参考にした。出沒データは2020年の1~12月の出沒情報をまとめ、項目等は南部(2007)にしたがった。また、採用した出沒データは付表1の判定Aを用い、その基準は南部(2007)によった。

3. 結果及び考察

3.1. 2020年の富山市のクマの出沒状況(表1, 付表1)

2020年(1~12月)の富山市のクマ出沒は168件であった(表1)。4~12月の地域別出沒件数は、八尾地域が50件を越し81件であった。50件未満~20件以上は大沢野地域の31件であった。他の地域は20件未満で、婦中地域19件、山田地域13件、大山地域8件、富山地域6件であっ

た。

クマの出沒があった期間は、富山市全体で1月1日~12月11日であった(付表1)。季節的な出沒状況では、冬(1月)は2件、春・夏(4~8月)は66件、秋(9~12月)は100件であった。秋は9月上旬から出沒が見られ、10月下旬にはピークを迎え、11月に入ると減少し、12月の出沒は僅かであった(表1)。

人身被害は、富山市では2件(軽傷1名、重症2名)発生した(表1; 付表1; 富山県, 2020a)。地域別では、富山地域で5月に1件2名、八尾地域で7月に1件1名であった。

各出沒記録の詳細は、付表1としてSupplementary data (<https://doi.org/10.6084/m9.figshare.19617705>)に示す。

3.2. 2005~2019年の富山市の出沒状況との比較

2020年の出沒状況を2004~2019年(南部, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019; 南部・清水, 2021; 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN), 2005)の出沒状況と比較する。2004年の出沒は富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN)(2005)の秋(9~12月)だけの記録を用いる。

富山市の2005~2019年の春・夏(4~8月)のクマの出沒件数は最小が11件(2006年)、最大が55件(2008年)であり、2020年春・夏(4~8月)は66件で2005年以降最も多かった(表1)。

富山県の2004~2019年秋(9~12月)のクマの出沒状況は、2004年、2006年、2010年、2019年の秋(9~12月)はクマの大量出沒が発生し、全県下で700件~1200件あまりの出沒があった(間宮・赤座, 2017; 富山県, 2022b; 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN), 2005)。これらの年に次いで多かった年は2014年秋(9~12月)の236件で、2009年、2012年、2016年が100件台、その他の年は100件未満であった(富山県, 2022b)。富山県の2020年秋の出沒件数は368件で、過去の大量出沒年に次いで多かった。

富山市でも富山県で秋の大量出沒年があった2004年、2006年、2010年、2019年は300~500件の大量出沒があった(南部, 2007, 2011; 南部・清水, 2021; 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク(JBN), 2005)。これらの年に次いで多かったのは2014年秋(9~12月)の104件で、その他の年の秋は50件以下であった。2020年秋(9~12月)の富山市のクマの出沒件数は100件で2014年秋とほぼ同程度であり、2020年秋は2014年秋とともに大量出沒年に次いで出沒が多かったといえる。

表1 富山市のクマの月別、地域別件数（2020年1月～12月）。

月	月別		地域別件数(人身被害含む)						人身被害		
	月別	月別詳細	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	富山	八尾
1月	2	2			1		1				
4月	4	4		3					1		
5月	11	11	1	3		2		1	4	1(2)	
6月	13	13	1	3	1	7			1		
7月	19	19		2	2	8	4	2	1		1(1)
8月	19	19		4	2	10	1	2			
9月上旬	29	10		3		5		1	1		
9月中旬		11	1	1		9					
9月下旬		8		2	1	4		1			
10月上旬	57	15		4		6	3	2			
10月中旬		19		3	1	11	3	1			
10月下旬		23	1	2	1	11	6	2			
11月上旬	11	9	1	1		5	1	1			
11月中旬		2				2					
11月下旬		0									
12月上旬	3	2	1			1					
12月中旬		1				1					
12月下旬		0									
小計(1月)	2	2			1		1				
小計(4～8月)	66	66	2	15	5	27	5	5	7		
小計(9～12月)	100	100	4	16	3	54	14	8	1		
小計(4～12月)	166	166	6	31	8	81	19	13	8		
合計(1～12月)	168	168	6	31	9	81	20	13	8	1(2)	1(1)

注1. 件数は、同一地点で目撃、痕跡があった

注2. 人身被害は、富山県(2020a)と付表1を参照した。件数と括弧に負傷者数を示す。

注3. 空欄は0を示す。

3.3. 2020秋の富山県のクマの出没状況

富山県（2020b）によれば、県内の2020年秋の堅果類の豊凶調査結果は、ブナ（15ヶ所）は全県で凶作、ミズナラ（16ヶ所）は全県で不作、コナラ（10ヶ所）は県東部で不作、県西部で凶作であった。ブナがほぼすべての地域で凶作であったことから、クマが食べ物を求めて標高の低い所まで活発に活動することが懸念された。富山市内の堅果類の調査地点では、ブナは有峰（3ヶ所）、大長谷とも凶作、ミズナラは、有峰（2ヶ所並作、2ヶ所不作）、大長谷、桧峠、牛岳ともに不作、コナラは猿倉が並作とされた。富山県内の人身被害は5件6名（軽傷2名、重症4名）発生し、5月2件3名、7月1件1名、8月1件1名、11月1件1名であった（富山県、2020a）。前述の2020年秋の富山県や富山市での多くのクマの出没件数は秋の堅果類の豊凶結果を反映していると考えられる。

4. 謝辞

クマの出没状況を提供いただいた富山市農地林務課に心より御礼申し上げる。

5. 引用文献

- 間宮寿頼・赤座久明，2017. 富山県におけるツキノワグマの出没状況と人身被害について（2004～2016年）. 富山県自然博物館ねいの里研究報告，(1)：1-7. <http://www.toyamap.or.jp/shizen/tyouzyuugai/2017bear.toyama.pdf>. 2022年2月11日閲覧。
- 南部久男，2007. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2005・2006年）. 富山市科学文化センター研究報告，(30)：109-126.
- 南部久男，2008. 富山市におけるツキノワグマの出没記録（2007年）. 富山市科学博物館研究報告，(31)：109-

- 126.
- 南部久男, 2009. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2008年). 富山市科学博物館研究報告, (32) : 161-169.
- 南部久男, 2010. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2009年). 富山市科学博物館研究報告, (33) : 147-153.
- 南部久男, 2011. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2010年). 富山市科学博物館研究報告, (34) : 177-191.
- 南部久男, 2012. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2011年). 富山市科学博物館研究報告, (36) : 129-135.
- 南部久男, 2013. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2012年). 富山市科学博物館研究報告, (37) : 163-169.
- 南部久男, 2014. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2013年). 富山市科学博物館研究報告, (38) : 165-171.
- 南部久男, 2015. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2014年). 富山市科学博物館研究報告, (39) : 141-15.
- 南部久男, 2016. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2015年). 富山市科学博物館研究報告, (40) : 135-141.
- 南部久男, 2017. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2016年). 富山市科学博物館研究報告, (41) : 113-120.
- 南部久男, 2018. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2017年). 富山市科学博物館研究報告, (42) : 103-110.
- 南部久男, 2019. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2018年). 富山市科学博物館研究報告, (43) : 101-108.
- 南部久男・清水海渡, 2021. 富山市におけるツキノワグマの出没記録 (2019年). 富山市科学博物館研究報告, (45) : 107-109.
- 富山県, 2020a. 令和2年 ツキノワグマによる人身被害の状況. R2.11.19現在. http://www.pref.toyama.jp/cms_pfile/00021627/01496512.pdf. 2022年2月6日閲覧.
- 富山県, 2020b. 令和2年 堅果類『ドングリ』の豊凶調査結果について. http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1709/kj00022598.html. 2020年9月4日閲覧.
- 富山県, 2022a. 出没情報地図【クママップ】. <https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/kj00018641/kj00021627/kj00021627-004-01.html>. 2022年2月9日閲覧.
- 富山県, 2022b. ツキノワグマ目撃痕跡情報. ツキノワグマ目撃・痕跡情報経年推移. <https://www.pref.toyama.jp/1709/kurashi/kankyoushizen/shizen/kj00018641/index.html>. 2022年2月8日閲覧.
- 富山クマ緊急調査グループ・日本クマネットワーク, 2005. 富山県における2004年のツキノワグマの出没状況調査報告書.p.112+CD.
- 富山市, 2022. クマ出没情報 (令和2年). https://www.city.toyama.toyama.jp/norinsuisanbu/shinrinseisakuka/kuma/kumashutsubotsujoho02_1.html. 2022年2月9日閲覧.